

国語科学習指導案

学習者 附属小学校 6年3組 33名
指導者 大西 一豊

単元名 「命」の読書座談会～立松和平作品を読み解き、「さいこう」の未来へつなぐ～

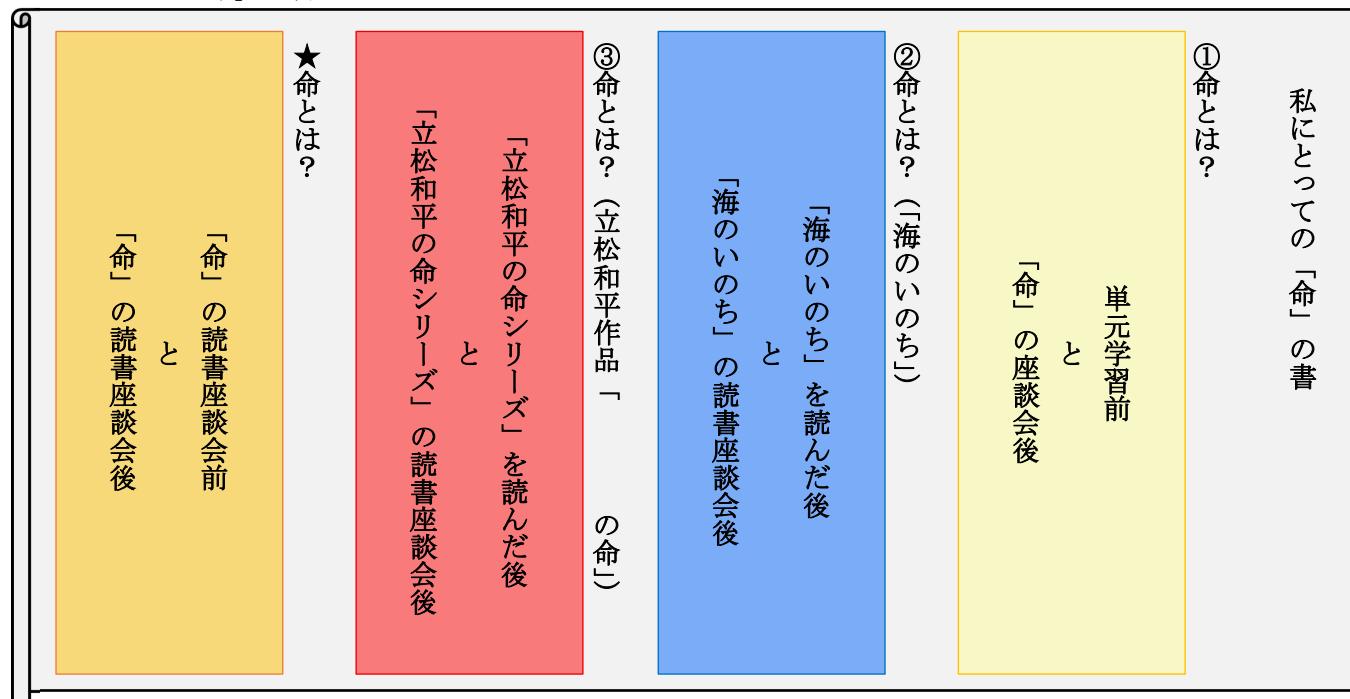
1. 単元の目標

立松和平の命シリーズを読んで、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付き、「命の読書座談会」をするために読んだ作品から理解したことに基づいて、命についての自分の考えをまとめることを通して、言葉がもつよさを感じるとともに、自分の考えを伝え合おうとする態度を養うことができるようとする。

2. 言語活動

本単元の言語活動として、高学年の「読むこと」の言語活動を具体化し、立松和平の命シリーズを読んで、理解したことに基づいた自分の考えをまとめたり伝え合ったりする活動を位置づけた。

私にとっての「命」の書



3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① これまでの読書経験を振り返り、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。</p> <p>【知・技 (3) オ】</p>	<p>① 「命の読書座談会」をするために、作品を読んで理解したことに基づいて、「命」についての自分の考えをまとめている。</p> <p>【C-オ】</p>	<p>① 進んで、「命」について考えさせられる作品を読み、粘り強く、作品に向き合ったり追究したりし、学習の見通しをもって、自分の考えをまとめ、伝え合おうとしている。</p>

4. 指導と評価の計画（9時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）			並行 読書
		指導改善に生かす評価「・」	総括資料とするための記録に残す評価「○」	知・技	
1 ・ 2	<p>◆これから学習について、立松和平について知り感想を共有したり、「命」についての自分の考えをまとめたり交流したりすることを通して、単元の目的を理解し、主体的に学習に臨もうとすることができるようとする。</p> <p>○これまでに読んできた作品や学習について振り返った後に、教科書最後の物語文の作者が立松和平であることを知り、立松和平の紹介動画（NHK アーカイブス）を視聴し、感想を共有しながら「命」がテーマであることについて理解する。</p> <p>○六年生としての一年間の学びの集大成として、共に学び合った仲間と「命」をテーマにした読書座談会を開き、「命」というかけがえのないものに対しての考えを広げたり深めたりすることによって、これから「さいこう」の未来へつなげようという目的意識をもち、意欲を高める。</p> <p>○「命」の読書座談会をするために、これから学習を大まかに捉えた学習計画を立て、単元の見通しをもつ。</p> <p>○立松和平作品を読む前に、現段階での自分にとっての「命」についての考えを『私にとっての「命」の書』にまとめ、「命」の座談会を開く。</p> <p>○「命」の座談会をした後、再度『私にとっての「命」の書』に自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命」の読書座談会をすることが楽しみだな。 ・たくさんの人と交流したり本を読んだりした、○○の力がつきそうだ。 ・六年生の国語の学びの集大成として、「命」と向き合って、「さいこう」の未来へつなげよう。 </div>			・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉 ※全時間随時	
3 ・ 4 本 時	<p>◆「海の命」を読んで理解した「命」について、自分なりの解釈や考えをもったり、「海の命」の読書座談会をしたりすることを通して、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめることができるようとする。</p> <p>○「命」の読書座談会をするために、「海の命」を読み、疑問や課題、心に響いた場面や命につながる言葉等を見つけ、自分なりの解釈や考えを教科書に書き込んだりノートに整理したりする。</p> <p>○「海の命」の読書座談会をする前に、「海の命」を読んだことに基づいた自分にとっての「命」について</p>	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉	・①〈発言分析・行動分析・記録分析〉		

	<p>ての考えを『私にとっての「命」の書』にまとめ、「海の命」の読書座談会を開く。</p> <p>○「海の命」の読書座談会をした後、再度『私にとっての「命」の書』に自分の考えをまとめる。</p> <div data-bbox="192 309 859 653" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の命」を読んで、「命」について自分なりの考えをもつことができた。 ・「命」について●●と考えていたけど、物語の「・・・・・」という言葉や○○さんと読書座談会で話し合ったことから、今では●●●と考えるようになった。 </div>			
5 ・ 6	<p>◆「立松和平の命シリーズ」を読んで理解した「命」について、自分なりの解釈や考えをもったり、「立松和平の命シリーズ」の読書座談会をしたりすることを通して、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめることができるようになる。</p> <p>○「命」の読書座談会をするために、「立松和平の命シリーズ」を読み、疑問や課題、心に響いた場面や命につながる言葉等を見つけ、自分なりの解釈や考えをiPadに保存した立松和平の命シリーズに書き込んだりノートに整理したりする。</p> <p>○「立松和平の命シリーズ」の読書座談会をする前に、「立松和平の命シリーズ」を読んだことに基づいた自分にとっての「命」についての考えを『私にとっての「命」の書』にまとめ、「立松和平の命シリーズ」の読書座談会を開く。</p> <p>○「立松和平の命シリーズ」の読書座談会をした後、再度『私にとっての「命」の書』に自分の考えをまとめる。</p> <div data-bbox="192 1462 859 2084" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「立松和平の命シリーズ」を読んで、「命」についてまた新しい自分なりの考えをもつことができた。 ・「命」について●●と考えていたけど、物語の「・・・・・」という言葉や○○さんと読書座談会で話し合ったことから、今では●●●と考えるようになった。 ・「命」について●●と考えていたけど、○○さんが読書座談会で●●●と考えていて、「確かに、そうだな」と思った。「　　」の作品からも似たようなことが考えられるので、自分も●●●という考えを大切にしたい。 </div>	○① 〈発言分析・行動分析・記録分析〉	○① 〈発言分析・行動分析・記録分析〉	

	<p>◆「命」について、これまでの学習や読書経験を振り返ったり、「命」の読書座談会を開いてたくさんの人と交流したりすることを通して、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめる能够するようになる。また、これから的生活につなげようと意欲をさらに高めることができるようになる。</p> <p>○「命」の読書座談会をするために、立松和平が命シリーズで伝えたかったことやこれまでの読書座談会での学習等を振り返り、自分にとっての「命」についての考えを『私にとっての「命」の書』にまとめる。</p> <p>○「命」の読書座談会を開き、最終的な自分にとっての「命」についての考えを交流する（学級→学年）。</p> <p>○これまでの単元の学習を振り返り、からの自分の生活について考え、それぞれの「さいこう」の未来へつながる意欲をさらに高める。</p>	<p>○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>	<p>○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>	<p>○①〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>
7 ・ 8 ・ 9	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「命」について●●と考えていたけど、物語の「……」という言葉や○○さんと読書座談会で話し合ったことから、今では●●●と考えるようになった。 ・「命」について●●と考えていたけど、○○さんが読書座談会で●●●と考えていて、「確かに、そうだな」と思った。「」の作品からも似たようなことが考えられるので、自分も●●●という考えを大切にしたい。 ・○○さんは、「命」について「」の作品から●●と考えていたから、自分と違っておもしろかった。立松和平が伝えたかったことも●●ということのよう感じた。 ・六年生の学びの集大成として「命」についてよく考えてきて、今では●●というように考えるようになった。これから自分の生活につなげることで、「さいこう」の未来をつくっていこう。 			

5.並行読書材（立松和平の命シリーズ）

- ①山のいのち
- ②街のいのち
- ③田んぼのいのち
- ④川のいのち
- ⑤牧場のいのち
- ⑥木のいのち

6. 本時の指導 (4/9)

本時のねらい	「海の命」を読んで理解した「命」について、「海の命」の読書座談会を開催して自分なりの解釈や考えを伝え合ったりすることを通して、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめることができるようになる。
評価規準	「海の命」を読んで理解した「命」について、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめることができている。
具体的な児童の姿	「海の命」を読んで、「命」について自分なりの考えをもつことができた。 「命」について●●と考えていたけど、物語の「・・・・」という言葉や○○さんと読書座談会で話し合ったことから、今では●●●と考えるようになった。」

など

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 【選択・決定】【当事者意識】 ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て
2分	1. 本時のめあてを確認する。	○掲示物を使って学習の目的や前時までの内容を想起するようにしてから、本時のめあてを位置付ける。【選択・決定】【当事者意識】
	めあて 「命」の読書座談会「海の命」編を開催して、「命」について自分の考えをまとめよう。	
3分	2. 「命」についての自分の考えを確認する。	○教材文「海の命」への書き込みや「命の書」を読み返し、自分の考えを確認するように伝える。【選択・決定】【当事者意識】 ・疑問があつたり考えがまとまつていなかつたりしても、読書座談会を通して問題が解決すればよいことを伝え、本時終末の姿を想像することで安心感がもてるよう促す。
30分	3. 「海の命」の読書座談会で「命」についての自分の考えを交流する。	○交流グループで「命」についての自分の考えを交流する時間を設定する。【選択・決定】【当事者意識】 ・前時までに学んだ交流のポイントについて確認することで、全員が安心感をもって考えが深められるようにしながら意欲を高める。 ・最初に開催した「命」の座談会とは違つて、「海の命」の叙述を根拠にして話すことをおさえる。また、聞いている際にも「海の命」の叙述を毎回確かめるようにおさえる。 ・読書座談会で話す内容として、 ①「命」についての自分の考え ②叙述の意味やストーリーへの疑問 の視点を共通理解として伝える。 ・叙述を根拠にできない、または、自分の経験が叙述よりもふさわしいと考える場合は、自分の経験と結び付けて話してもよいことを新たな交流のポイントとして確認する。 ※疑問があつて何を話していいか分からず、自分の考えがまとまつていない児童がいる場合は、これまでの学習についての

10分	<p>4. 本時を振り返りとして、改めて「命」についての自分の考えをまとめる。</p>	<p>「命」の話をしたり、交流では最後に話をしたり、疑問に思う叙述を伝えたりするなどして、解決に向かうような声かけをする。</p> <p>○本時の振り返りをする。【選択・決定】【当事者意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りは、 <ul style="list-style-type: none"> ①「命とは_____である。」と短い言葉でまとめたものとその理由 ②「学び、仲間、未来」の3視点での振り返りも含めた「命」についての自分の考えの2つの形式で行うことを伝える。 ○「海の命」を読んで理解した「命」について、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くとともに、自分の考えをまとめることができる。 <p>〈発言分析・行動分析・記録分析〉</p>
-----	---	---